

# BONMAC

## 取扱説明書

コーヒーブルーワー BM-2100

業務用



### もくじ

ページ

安全上のご注意 .....	1~2
各部の名称 .....	3
仕様 .....	4
正しい使い方 .....	4~6
(1)準備 .....	4
(2)コーヒーの抽出 .....	5
(3)ご使用後は .....	6
お手入れ .....	6
故障かな? .....	7
保証書 .....	7
お問合せは .....	7



こちらのQRコードから  
製品取扱、トラブルシューティング  
動画をご覧いただけます。

このたびは **BONMAC** 「コーヒーブルーワーBM-2100」をお買い上げいただき、  
まことにありがとうございました。

- ・正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- ・「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みください。
- ・取扱説明書はお読みになった後も必ず保管し、必要なときお読みください。

# 安全上のご注意

この取扱説明書及び製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するための重要な内容です。よくお読みの上、必ずお守りください。

【絵表示について】 この取扱説明書及び製品は、安全にお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

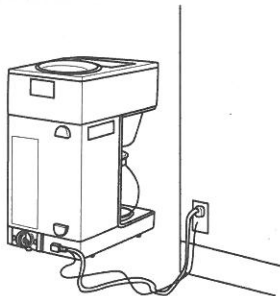
## 警告



アース

アースをしてください。  
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



禁止

本体に水をかけたり、水につけないでください。

ショート・感電の原因になります。



水を入れる前に電源スイッチを「ON」にしないでください。

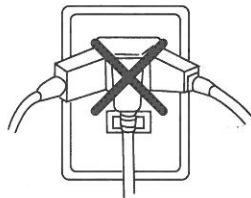
空だきして、過熱・絶縁劣化による感電・火災の原因になります。



必ず実施

コンセントは専用で使ってください。

(容量15A以上か確認)  
タコ足配線や延長コードの使用は過熱、発火の原因になります。



分解禁止

改造はしないでください。  
修理技術者以外は、分解・修理をしないでください。

火災・感電・けがの原因になります。



必ず実施

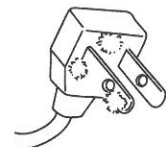
お手入れは、電源スイッチを「OFF」にし、湯沸かしタンク内の湯を排水してから行ってください。また、電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。

やけど・けが・感電をすることがあります。



必ず実施

電源プラグの刃や刃の取付け面についたほこりは、よくふきとってください。  
火災の原因になります。



# 注意



禁止

交流100V以外では使わないでください。  
使うと感電・火災・故障の原因になります。

不安定な場所や、熱に弱い物の上におかないでください。

感電・火災・ショートの原因になります。

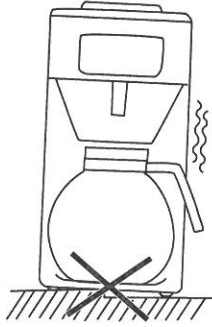
使用時は移動させないでください。

コーヒーや熱湯でやけどをする恐れがあります。

コーヒー抽出中・抽出直後にはチャンバーを抜かないでください。

コーヒーや熱湯でやけどをする恐れがあります。

コーヒー抽出後の湯沸かし中に、水の膨張によりシャワーから湯が出る場合があります。

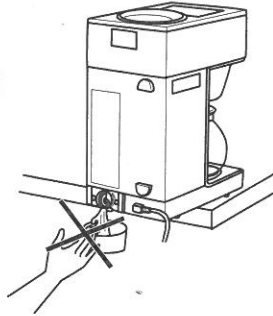


接触禁止

コーヒー抽出中や抽出直後は本体・デカント保温プレートに触れないでください。

運転中は本体の上面、側面が熱くなりますので注意してください。

やけどをする恐れがあります。



排水時は排水口付近に触れないでください。

熱湯でやけどする恐れがあります。



禁止

電源コードを持って電源プラグを抜かないでください。

コードが傷み、感電・ショート・発火の原因になります。

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードに無理な力がかかる、重いものを乗せる、変形させる、たばねるなどしないでください。

電源コードが破損し、感電・発火の原因になります。

長期間沸かしていない湯沸かしタンク内の水は使わないでください。

水質が悪化した場合、下痢・腹痛など体をこわすことがあります。



禁止

デカントなしで保温ヒータースイッチを「入」にしないでください。

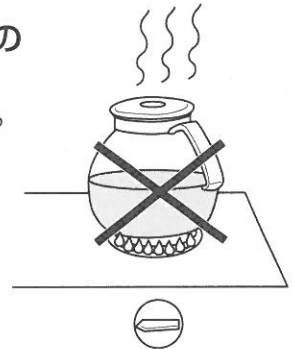
保温プレートが高温になり、やけどをする恐れがあります。



接触禁止

デカントを他の熱源にかけないでください。

割れてけがをする恐れがあります。



必ず実施

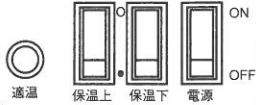
長期間使用しないときは、湯沸かしタンク内の水を排水し、電源プラグを抜いておいてください。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

# 各部の名称

## 【操作パネル】

**BONMAC**



BM-2100  
COFFEE BREWER

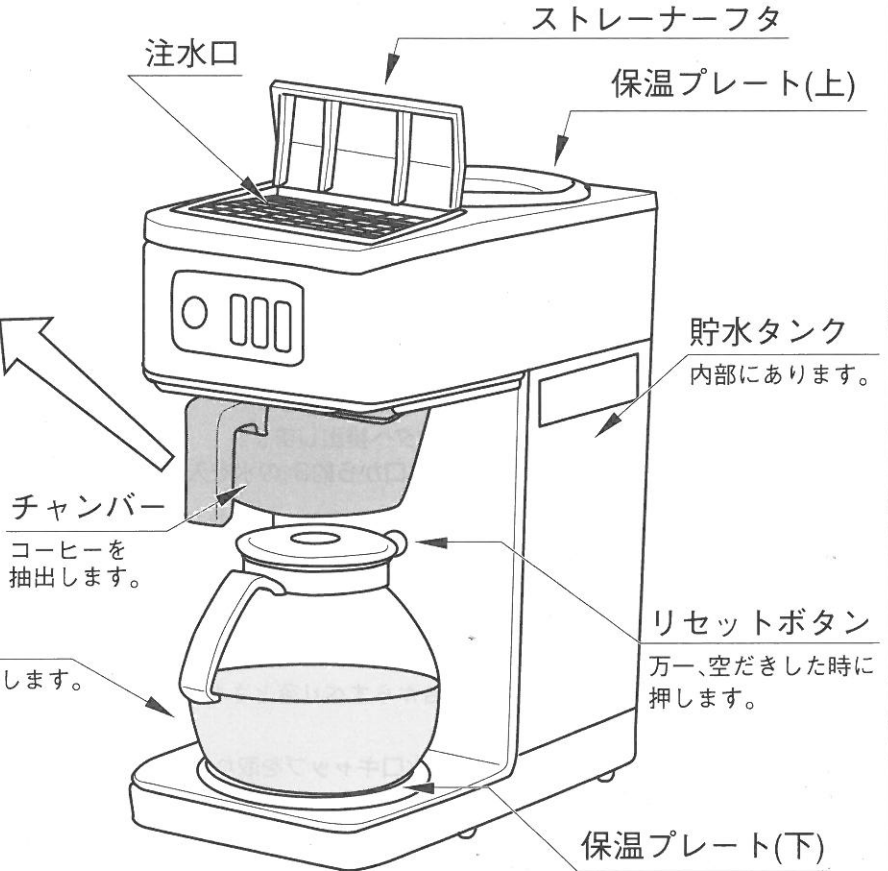
「適温」点灯時  
湯沸かし完了  
(コーヒー抽出可)

「電源」点灯時  
通電

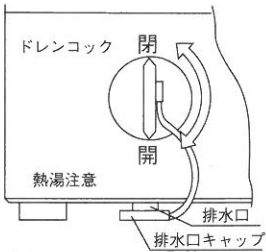
「保温(上)、(下)」点灯時  
保温ヒーター通電中

デカンタ

コーヒーを保存します。



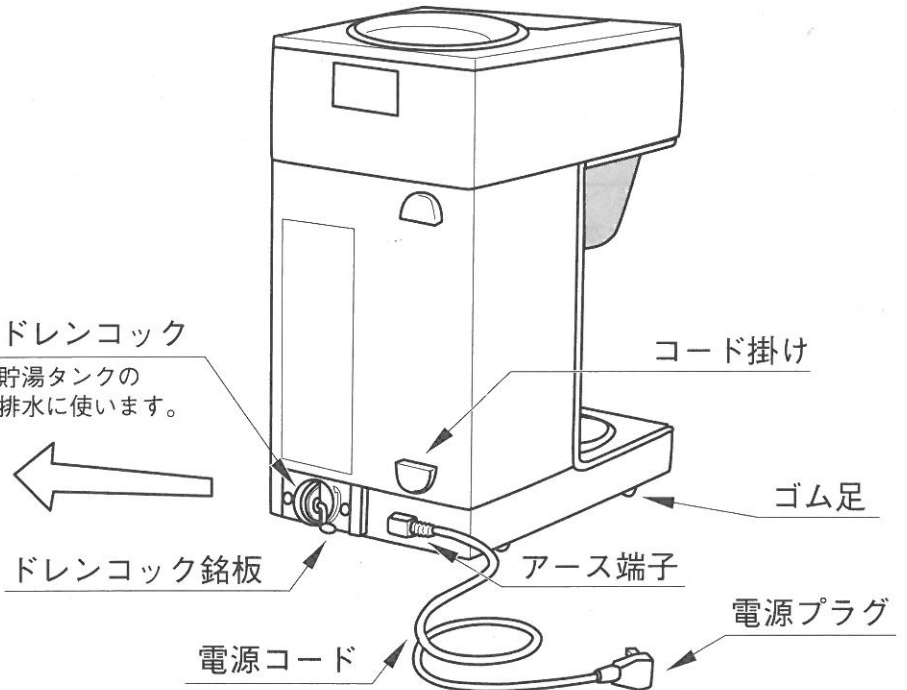
## (ドレンコック)



「ドレンコック開」  
排水する。  
「ドレンコック閉」  
止水する。

ドレンコック

貯湯タンクの  
排水に使います。



機械の寿命低下になりますので、空炊きはしないでください。

# 仕 様

形 名	BM-2100	BM-2100H
電 源	単相100V 50/60Hz	同左
消費電力	1050W (タンクヒーター760W+90W、保温ヒーター100W×2)	1290W (タンクヒーター1000W+90W 保温ヒーター100W×2)
外形寸法	(幅×奥行×高さ) 204×425.5×446 (mm)	同左
製品質量	6.0kg	同左
湯沸かしタンク容量	約3,000cc	同左
付 属 品	チャンバー、水差し、No.250ペーパーフィルター、アース線、デカンタ	同左

※付属品の水差しは、コーヒーマシン専用ですので、水以外のものを入れて使用しないで下さい。  
お湯などを入れてご使用になられますと、水差しの変形や変色をおこす原因となります。

## 使用方法

**準 備** (初めて使うときや、湯沸かしタンクの排水をしたときは、この手順で準備します。)

### 1. チャンバーとデカンタをセットします。



### 2. 湯沸かしタンクを満水にします。

- 注水口から水差しで3,000cc以上の水を入れます。  
(デカンタにあふれ出るまで入れてください。)

#### ご注意

- デカンタにたまった水は捨ててください。
- ドレンコックが閉じていることを確認してください。
- 一度に1,500cc以上の水を入れしないでください。  
注水口からあふれ出ることがあります。



### 3. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にします。

#### ご注意

- 最初に湯を沸かすとき、水の膨張によりシャワー口から湯が出る場合がありますので、必ずチャンバーとデカンタをセットしておいてください。

#### 警告

- 水を入れずに電源スイッチを「ON」にしないでください。

# 使用方法

## コーヒーの抽出

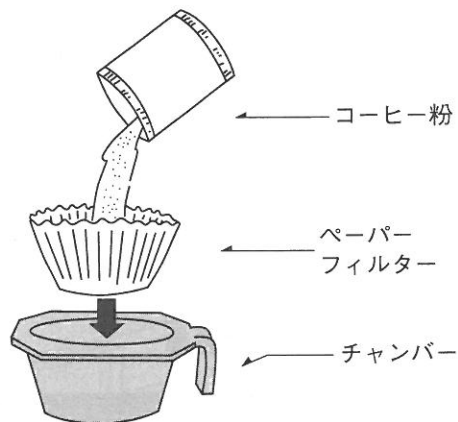
### 1. 適温ランプの点灯を確認します。

- 電源スイッチを「ON」にしてから約23分で点灯します。
- コーヒーを抽出した後は約11分で再点灯します。  
(気温・水温により変化します。)

### 2. ペーパーフィルターをチャンバーにセットし、 コーヒー粉を入れます。

#### ご注意

- 専用のペーパーフィルターをお使い下さい。  
コーヒー粉は100g以上入れないでください。  
抽出されたコーヒーがチャンバーからあふれる  
場合があります。



### 3. チャンバーを本体にセットします。

- チャンバーは本体のレールに沿って、突きあたるまで  
差し込みます。

### 2. デカンタを保温プレート(下)におきます。

#### ご注意

- フタ付のデカンタの場合は、フタを開いてください。

### 5. 注水口から水差しで水を入れます。

- コーヒー粉に応じた量の水を入れます。

#### ご注意

- お湯など水以外のものは入れないでください。  
※注水口から水を入れる際は、水を少しずつ入れてください。
- コーヒー抽出後の湯沸し中に、水の膨張によりシャワーから  
湯が出る場合があります。

#### 注意

コーヒー抽出中、抽出直後はチャンバーを抜かないでください。

### 6. コーヒーを保温します。

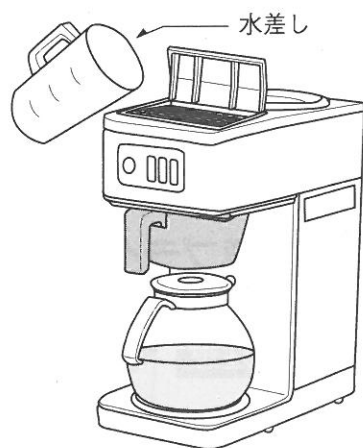
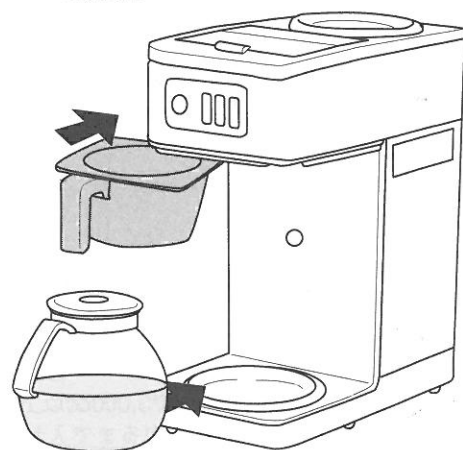
- 保温(下)スイッチを「入」にします。<保温プレート(下)が温まります>
- 保温プレート(上)にデカンタを置き、保温することもできます。
- この場合は保温(上)スイッチを「入」にしてください。

#### ご注意

- 保温プレート(上)にデカンタを置いたときは、本体を揺らさないでください。
- デカンタのコーヒーがなくなったときは、保温スイッチを「切」にしてください。

#### 注意

保温プレートの上に「水差し」などデカンタ以外の物を置かないでください。



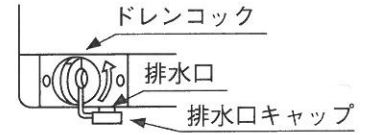


# 使用方法

## 使用後は

### ⚠ 注意

長期間通電しない場合は湯沸かしタンク内の水を排水してください。



### 【排水の仕方】

#### ⚠ 注意

- 貯湯タンクに熱湯が入っているときは排水しないでください。
- 排水時は排水口付近に触れないでください。

1. 電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜きます。
2. まず、湯沸かしタンクの熱湯をデカンタへ排出します。
- チャンバーとデカンタをセットし、注水口から約3ℓの水を入れます。

#### ⚠ 注意

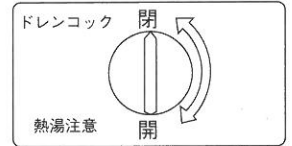
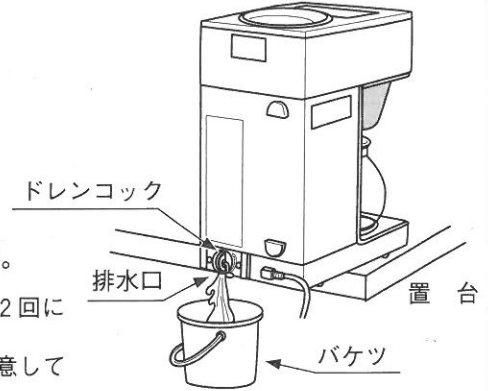
- 一度に3ℓの水を入れるとデカンタから溢れますので、2回に分けて入れてください。
- デカンタには熱湯が出ますので、火傷しないように注意して下さい。

3. 本体を後ろにずらし、排水口を置台の外側に出します。

#### ⚠ 注意

- 本体が傾きますので、置台からすべり落とさないように注意してください。

4. 排水口の下にバケツなどを置き、排水口キャップを取りはずします。
5. ドレンコックを「開」方向に回します。
6. 排水が終われば、ドレンコックを「閉」方向に回し確実に閉め、排水口キャップを排水口に入れます。



「ドレンコック開」:排水する。  
「ドレンコック閉」:止水する。

# お手入れ

### ⚠ 警告

お手入れは、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜き、保温プレートが冷えてからおこなってください。

- チャンバー・デカンタ・水差しは、食器用洗剤を使ってスポンジで洗います。洗剤はよく洗い流してください。
- 本体・保温プレートは食器用洗剤をやわらかい布に含ませて汚れを拭き取り、次にきれいな水またはぬるま湯を布に含ませて、洗剤分をよく抜き取ります。
- シャワーは右に回すと取りはずせますので、食器用洗剤で洗います。

食器用洗剤

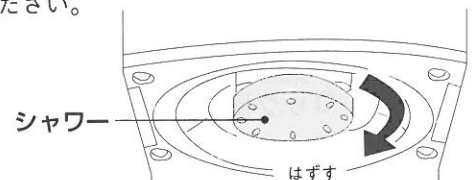
やわらかい布



きれいな水またはぬるま湯

- ミガキ粉・タワシ・ベンジン・熱湯などは使用しないでください。

#### ⚠ 注意



# 故障かな？

次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

こんなとき	次の点をご確認ください
コーヒーがぬるい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適温ランプが点灯する前に抽出していませんか。</li> <li>・コンセントは専用で使用していますか。</li> <li>・風の通る場所に置いていませんか。</li> </ul>
適温ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグは確実に差し込まれていますか。</li> <li>・電源スイッチを「ON」にしていますか。</li> <li>・湯沸かしタンクに水が入っていますか。</li> </ul> <p>※湯沸かしタンクに水を入れずに電源スイッチを「ON」にすると、空焚き状態となり保護装置が働きます。 この場合は、本体が冷えてから前面のリセットボタン(OCR)を指で「カチッ」と音がするまで軽く押してください。</p>

次のようなことは故障ではありません。

こんなとき	このような理由です
本体の側面が熱い	・高温の温水を貯湯しているためです。
注水した後「ゴー」という音がする	・湯沸かしタンクの湯を沸かしている音です。
注水口フタ内面に露がつく	・温水を貯湯しているためです。

## コーヒーブルーワー保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。(無料修理規定をご覧ください)

お買い上げの日から保証期間中、故障が発生した場合、本書をご提示の上、お買い上げの販売店にご持参下さい。

型 式	サーモブルーワー BM-2100(H)		
製造番号	K C S		
保証期間	お買い上げ日 年 月 日から 1 年間		
★ お 客 様	ご住所	〒	
	お名前	(ふりがな)	
	T E L	市外局番	様
		( )	

★印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出下さい。本書は、再発行致しませんので、紛失しないように大切に保存してください。

## <無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談下さい。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼出来ない場合には、販売元にお問い合わせください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・風災害・異常電圧・公害・塩害・ガス害・指定外の使用電源(電圧・周波数)及びその他天災地変などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 一般用以外(例えば、温室暖房や車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
  - (ホ) 別売品、消耗品・摩耗・損傷・紛失
  - (ヘ) 製品番号の変更及び、取り外した製品
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (チ) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。  
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については販売店にお問い合わせ下さい。

## お問い合わせは

[ 販売店 ] ★

## ラッキーマシン 株式会社

本 社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

東京本部

広 域 営 業 部 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目11-11 Daiwa駅前ビル TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号 TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467

東京営業所/東京ショールーム 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目11 Daiwa駅前ビル TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723

名古屋営業所/名古屋ショールーム 〒451-0046 名古屋市中区牛島町5番4号 TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677

大阪営業所/大阪ショールーム 〒537-0001 大阪府東成区深江北3丁目5番7号 TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660

福岡営業所 〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1 TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356

福岡ショールーム 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356

20.07 RE